

保護者様

令和4年3月22日
京都市立洛央小学校
校長 竹村 知子

令和3年度学校評価（後半）を振り返って

学校評価にご協力ありがとうございました。

令和3年度学校評価（後半）の集計結果をお知らせします。この間、保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）のアンケート（インターネットを利用した回答形式）にご協力いただき、ありがとうございました。

洛央小学校では、「学びの広がり、深まりとつながりのある学校～他者と協働し、学び合う子の育成～」を教育目標とし、教育活動を進めています。今年度は、子どもたちの実態より、いくつかの項目を昨年度の内容から変更させていただきました。今回の集計結果を真摯に受け止め、来年度以降の教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えております。

①友達や先生の話を聞くことができていると思われますか。（保護者）

友達や先生の話を聞くことができていますか。（児童）

友達や先生の話を聞くことができるよう支援・指導していますか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
保護者	43%	47%	9%	1%	0%
児童（高学年）	49%	41%	5%	1%	4%
児童（低学年）	49%	39%	6%	2%	4%
教職員	52%	48%	0%	0%	0%

「相手の話を聞く」ことについて、ほぼ9割の回答者が、「そう思う」「大体そう思う」と答えていました。前半に引き続き「聞くこと」を大切できているというよい結果を非常にうれしく思います。

洛央小学校では、今年度、様々な教科等の学習において、「お互いの考え方や気持ちを伝え合う活動」に重点を置いて活動を進めてきました。コロナ禍において、コミュニケーションの方法が制限されたり工夫を求められたりする中ですが、来年度以降も、児童が多様な人々とコミュニケーションを取り、互いの考え方や思いを聞くことで、より視野を広げたり、学びを深めたりしていけるように取り組んでいきたいです。

②自分の考え方や思いを話すことができていると思われますか。（保護者）

自分の考え方や思いを話すことができていますか。（児童）

自分の考え方や思いを話すことができるよう支援・指導していますか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
保護者	22%	55%	19%	3%	1%
児童（高学年）	35%	44%	16%	2%	3%
児童（低学年）	44%	35%	12%	3%	6%
教職員	33%	63%	4%	0%	0%

「自分の考え方や思いを話すことができる」については、80%程度の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。前半とほぼ同様の結果となっています。

「聞くこと」の項目と比較すると、子どもたちにとって「相手の話を聞く」ことよりも「自分の考え方や思いを話すこと」に対して苦手意識や不安感等を抱いている傾向があります。様々な機会に、様々な人に話すことはコミュニケーションを深める上でとても大切です。思いや考えをよりよく伝えるために、「話すこと」を大切にする支援や指導をこれからも続けていきたいと思います。

③学習や活動にねばり強く取り組むことができていると思われますか。(保護者)

学習や活動にねばり強く取り組むことができていますか。(児童)

学習や活動にねばり強く取り組むことができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
保護者	25%	56%	15%	4%	0%
児童（高学年）	33%	48%	13%	3%	3%
児童（低学年）	48%	29%	7%	3%	13%
教職員	37%	63%	0%	0%	0%

「ねばり強く取り組むこと」については回答者の約8割が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。取り組んでいることに対して、すぐにあきらめるのではなく、ねばり強さを発揮できることは、児童期だけでなく生きていくうえでも非常に大切な姿勢であると思います。子どもたちが苦手なことに挑戦したり、根気強く取り組み続けたりしているときに、その姿勢や頑張りを認め、ほめる言葉をかけていけるといいですね。

④友達や周りにいる人たちと協力することができていると思われますか。(保護者)

友達や周りにいる人たちと協力することができていますか。(児童)

友達や周りにいる人たちと協力できるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
保護者	43%	51%	5%	0%	1%
児童（高学年）	51%	40%	4%	1%	4%
児童（低学年）	56%	31%	7%	1%	5%
教職員	59%	41%	0%	0%	0%

「友達と力を合わせること」については、ほぼ9割以上が「そう思う」「大体そう思う」という回答結果でした。前半よりも「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合も減りました。年度途中でやや落ち着きを見せたものの、コロナウイルス感染拡大があり、小グループでの話し合い活動や課題グループでの活動、給食や掃除などの当番活動、たてわりグループや係の活動、委員会やクラブ活動など、力を合わせる場面に制限がかかることが多くありました。そうした機会や場面が少なかったこともあり教職員は協力できる支援・指導がなかなかできないと感じていました。感染対策をしながらも友達と協力する機会をどうすれば確保できるのか、来年度以降も検討していきたいと思います。

⑤進んで運動をしていると思われますか。(保護者)

進んで運動をしていますか。(児童)

進んで運動をできるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
保護者	34%	35%	25%	5%	1%
児童（高学年）	47%	28%	15%	7%	3%
児童（低学年）	62%	21%	11%	2%	4%
教職員	27%	54%	19%	0%	0%

「進んで運動している」については、低学年児童以外は2割から3割ほどの回答者が「あまりそう思わない」「そう思わない」としていました。前半とほぼ同様の結果となりました。

健やかな体や豊かな心を育むためには運動も大切な要素の一つです。「進んで運動していない」とする要因や背景として、運動する場所がない、感染拡大防止のため制限された、運動が苦手等、多くの要因や背景が考えられます。こうした本校の実態を適切に把握し、改善していくことを今後目指していく

いと考えています。休み時間や体育の学習はもちろん、運動できる環境や機会を整えることへの取り組みを進めていくとともに、児童が運動に対して意識を高めるためにご家庭でのお声かけもどうぞよろしくお願ひします。

⑥好き嫌いせずバランスよく食べていると思われますか。(保護者)

好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(児童)

好き嫌いせずバランスよく食べるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
保護者	32%	44%	19%	5%	0%
児童（高学年）	40%	35%	15%	6%	4%
児童（低学年）	45%	31%	13%	6%	5%
教職員	50%	46%	4%	0%	0%

「好き嫌いせずバランスよく食べること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者が約25%，高学年児童・低学年児童が約20%と、前半とほぼ同様の結果でした。

食事は運動とともに、健やかな体や豊かな心を育みます。給食の様子から前半と比べ、だんだん好き嫌いせずに食べようという姿が多く見られています。学校ではがんばろうという意識はありますが、家庭でも自身の体づくりとつなげて、好き嫌いなく食べていくことができるよう、今後も支援・指導を進めていきたいと思います。ご家庭でのお声かけもよろしくお願ひいたします。

⑦毎日必ず朝ごはんを用意していますか。(保護者)

毎日必ず朝ごはんを食べていますか。(児童)

毎日必ず朝ごはんを食べるよう支援・指導などできましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
保護者	89%	10%	1%	0%	0%
児童（高学年）	82%	14%	2%	1%	1%
児童（低学年）	86%	9%	2%	1%	2%
教職員	39%	46%	15%	0%	0%

「毎朝朝ごはんを食べる」ことについては、教職員以外は、9割以上の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。教職員も朝食の大切さを伝えていく機会を意識していきたいと思います。

非常に良い結果をうれしく思うとともに、保護者の皆様の朝食に対する意識に感謝いたします。今回の結果のように、児童がきちんと朝食を食べているという習慣を今後も続けていけるよう、教職員も意識するとともに、保護者の皆様のご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

⑧安全に気を付けて生活することができていると思われますか。(保護者)

安全に気を付けて生活することができていますか。(児童)

安全に気を付けて生活することができるよう支援・指導していますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
保護者	47%	49%	3%	1%	0%
児童（高学年）	54%	38%	6%	0%	2%
児童（低学年）	67%	25%	4%	1%	3%
教職員	50%	50%	0%	0%	0%

「安全に気を付けて生活すること」については、前半同様9割以上が「そう思う」「大体そう思う」という回答でした。日常生活の中で、「安全に気を付ける」という場面は数多くあります。実験で器具の正しく扱ったり手順をしっかりと確認したりすること、調理実習で火傷に注意すること、運動中に周りの様子

を確認すること、廊下を走らずに歩くことなど学校の場面でも様々な場面で安全に気を付けて生活をしています。

その中でも、交通安全については十分な注意を払ってほしいと思います。事故が起きてしまってからでは取り返しがつきません。ついつい歩道を走ってしまったり、歩道から外れてしまったりしている児童の姿を見かけることもあります。安全に対する高い意識を実際の行動に表すことができるよう、来年度も指導を続けていきたいと思います。また、警察や子ども見守りたい、PTAなどの皆様とも協力する取組も同様に進めていければと考えています。

⑨自分のきめた目標にむけてがんばることができていると思われますか。(保護者)

自分のきめた目標にむけてがんばることができましたか。(児童)

自分のきめた目標にむけてがんばができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
保護者	30%	51%	15%	3%	1%
児童（高学年）	40%	41%	12%	2%	5%
児童（低学年）	49%	37%	7%	2%	5%
教職員	48%	48%	4%	0%	0%

「目標をもって学習したり生活したりすること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者で約20%，高学年児童が約15%，低学年児童で約10%でした。前半に比べて「あまりそう思わない」「そう思わない」という割合が減りました。

昨年度から京都市では「生き方探求パスポート」の運用を開始しました。子どもたちが「なりたい自分」に向かって、自分のことをじっくりと見つめていくことを大切にすることがねらいです。自分の良さや得意なこと、がんばったことを自覚し、自分の成長を見つめることで将来の目標にも意識を向ける機会になればと思います。今年度のふりかえりを年度末に持ち帰っていると思いますので、ご覧いただき子どもたちのお声かけいただければと思います。

学校での様々な活動の中で、子ども自身が目標をもつができるように、どんなことを目指すのか、どのような力を付けていきたいのかを児童に示しながら、そのためにどんなことをすべきなのか、どんな方法を選べばいいのかなど、目標に向けてがんばができる支援・指導を今後も目指していきたいです。

⑩自分から進んでいきさつをすることができていると思われますか。(保護者)

自分から進んでいきさつをすることができていますか。(児童)

自分から進んでいきさつをするができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
保護者	30%	46%	18%	5%	1%
児童（高学年）	49%	31%	12%	5%	3%
児童（低学年）	55%	28%	8%	5%	4%
教職員	54%	46%	0%	0%	0%

「すすんでいきさつ運動ができる」については、児童、保護者とも約8割が「そう思う」「大体そう思う」という回答でした。前半と比べて、割合が多くなり、たいへんうれしく思います。

毎朝の洛央小学校の玄関で交わされる「おはよう」「おはようございます」の声はとてもすがすがしく感じるとともに、安心感を与えてくれます。朝のいきさつだけでなく、「こんにちは」や「さようなら」のいきさつ、また「ありがとう」「どういたしまして」など、何気なくしている言葉のやりとりなど、人ととのつながりを円滑にしたり深めたりする上でとても大切なものです。いきさつの大切さを伝え、実戦できるようできるよう今後も児童に支援・指導を続けていきたいと思います。